

ログイン情報の管理シート

どの入り口で作ったか、誰が入れるかを控えて、入れなくなる前に手を打つ6枚

この6枚でできること

- ☐ ログインの入り口と、受け取れるメールアドレスを1か所に控えられる
- ☐ 2段階認証の手段をメールだけにせず、足した手段と控えの場所を書ける
- ☐ 入れないとき、8つの原因を上から順に潰せる
- ☐ 担当者が変わる前に、引き継ぎの依頼をそのまま送れる

使う順番

入れている今のうちに2ページと3ページを埋める → 6ページの3つを済ませる → 書き終えたシートは管理画面に入れる人だけが见られる場所に保管する → 入れなくなったら4ページを上から見る。

管理画面のURLは1つだけです。
<https://manager.line.biz/>
ログインできない相談でいちばん多い原因は、違うページを開いていることです。

目次

2	ログイン情報の記入シート 入り口4つのどれか、メールアドレス、入れる人、アカウントごとの控え
3	2段階認証の設定シート 必須化の日付、使える4つの手段、どれを足したかと控えの置き場所
4	入れないときに疑う8つの順番 上から順に、確かめることと直す場所。アカウントが1つも出ないとき
5	管理画面の早見表 やりたいこと10個の開く場所、上部タブと左メニュー、パソコンとスマホの分担
6	入れなくなる前の3つと、引き継ぎの依頼文 やってしまうと戻れないこと、担当者や前任者にそのまま送れる文

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた日付、手段、画面の場所は、第9回の記事に書いた内容だけです。2段階認証の日付はLINEヤフーのお知らせ「ビジネスIDにおける2段階認証の必須化のお知らせ」(<https://www.lycbiz.com/jp/news/20260317/>)によります。2026年10月1日時点の記事内容に基づくもので、画面の並びや名前は変わることがあります。**パスワードやバックアップコードそのものは、このシートに書かないでください。**書くのは、どこに保管したかだけです。

1. どの入り口で作ったか（1つに印）

☐	LINEアカウント	開設のときに、自分のLINEと連携して作った
☐	メールアドレス	開設のときに、メールアドレスとパスワードを登録して作った
☐	Yahoo! JAPAN ID	Yahoo!広告なども使っていて、そちらと共通で作った
☐	パスキー	指紋や顔認証、端末のロック解除で入る。あとから追加できる

4つは併用ではなく、登録したものでしか入れません。メールアドレスで作ったアカウントに、LINEアカウントのボタンから入ることはできません。どれか分からないときは、ログイン画面のボタンの上に「前回のログイン」という吹き出しが出ていないかを見ます。同じブラウザで一度でも入っていれば出ます。

2. ビジネスIDの控え

ログインに使うメールアドレス（個人に紐づかない、複数人で受け取れるもの。例 → info@〇〇）

そのメールを受け取れる人

パスワードの保管場所（パスワードそのものは書かない）

LINEアカウントで入る場合、そのLINEの持ち主

そのLINEにメールアドレスを設定済みか

3. 管理画面に入れる人（自分以外にもう1人、管理者を入れる）

名前	権限	入り口	追加した日
	管理者		月 日
	管理者		月 日
			月 日

ログイン情報を教えるのではなく、設定の「権限管理」からメンバーとして追加します。管理者か運用担当者かで、触れる範囲が変わります。

4. アカウントの一覧（1つのビジネスIDで最大100個まで持てる）

アカウント名	どのビジネスIDの下か	自分の権限	プラン	開設した人

2段階認証の設定シート

メールアドレスで入っている人は必須

日付	何が起こったか
2026年4月30日	2段階認証をオフにできなくなった
2026年6月30日	2段階認証がオフだった人に、メール認証が自動で有効化された

対象はメールアドレスでログインしている人（ビジネスアカウント）だけで、LINEアカウントで入っている人は対象外だと公式に明記されています。「昨日まで入れたのに今日入れない」の多くはこれです。メールアドレスとパスワードが合っても、メールに届いたコードを入れないと入れません。

いまの状態を確認する

ビジネスIDのプロフィール画面で、2段階認証のステータスと、パスキーの登録数が見られます。

ステータス（オン・オフ）

いまの手段

パスキーの登録数

使える手段は4つ（メール認証だけにしない。足したものに印を付けて控えを書く）

	手段	補足	控え
☐	メール認証	2026年6月30日に自動で有効化されたのはこれ	受け取るアドレス _____
☐	認証アプリ	スマホの認証アプリでコードを出す	入れた端末とアプリ名 _____
☐	SMS	携帯番号にコードが届く	番号の持ち主 _____
☐	バックアップコード	上のどれも使えなくなったときの控え	印刷した紙の保管場所 _____

メール認証だけにしておく

メールを受け取れなくなった瞬間に、管理画面へ入る手段がゼロになります。登録したメールアドレスが古いままだったり、そのメールを受け取れる人が退職していたりすると、ここで止まります。SMSかバックアップコードを、入れている今のうちに足してください。

パスキーに切り替えるなら

- ☐ パスワードを使わず、端末の指紋や顔認証で入る。ログイン画面の4つ目にある
- ☐ 端末を失くしたときのために、他のログイン方法とバックアップコードは残しておく
- ☐ 複数人で運用するなら各自の端末に登録する。共有のパスワードを配るより安全

パスキーに登録した端末

入れないときに疑う8つの順番

上にあるものほど、実際に多い原因

上から順に見て、当てはまらなければ右端に印を付けて次へ進みます。心当たりのある入り口を全部試すのではなく、開設したときのことを思い出してください。

順	原因	確かめること	直す場所	済
1	開いているページが違う	アドレス欄が manager.line.biz か。lycbiz.com やビジネスマネージャーを開いていないか	ブックマークから開き直す	☐
2	ログイン方法を取り違えている	開設したときに選んだ入り口はどれか。ボタンの上に「前回のログイン」の吹き出しが出ていないか	2ページに書いた入り口から入る	☐
3	2段階認証のコードが届かない	迷惑メールに入っていないか。登録したアドレスが今も受け取れるか	3ページの別の手段（SMS・認証アプリ・バックアップコード）を使う	☐
4	パスワードを忘れた	忘れたのはLINEアカウントのものか、ビジネスアカウント（メールアドレス）のものか	LINEの方はLINEアプリの設定。メールアドレスの方はログイン画面の「パスワードをリセット」	☐
5	メールアドレスを設定していない	LINEアカウントで入る場合、そのLINEにメールアドレスが設定されているか	LINEアプリ側の設定で登録する（管理画面では設定できない）	☐
6	担当者が変わって入れない	前任者の個人LINEや前任者のメールアドレスで登録していないか	取り戻すのは非常に面倒。6ページの依頼文で、辞める前に手を打つ	☐
7	障害やメンテナンス	上の6つがどれも当てはまらないか	LINE側の問題を疑う。ただし頻繁には起きない	☐
8	ブラウザのキャッシュ	シークレットウィンドウで同じURLを開くと入れるか	入れるならキャッシュとCookieを消して入り直す	☐

パスワードは、どちらを忘れたかで直す場所が違う

忘れたもの	どこで直すか
LINEアカウントのパスワード	LINEアプリ側の設定。管理画面からは直せない
ビジネスアカウント（メールアドレス）のパスワード	ログイン画面の「パスワードをリセット」

入れたのに、アカウントが1つも出ないとき

「LINE公式アカウントを作成」の画面が出て、アカウントは消えていません。そのビジネスIDの下に無いだけです。ここで新しく作り直すのがいちばんまずい対応です。友だちは引き継がないので、集めた分が丸ごと無駄になります。

- ☐ 別のメールアドレスでビジネスIDを作っていないか
- ☐ いま使っているのとは違うログイン方法で開設していないか
- ☐ 開設を誰か他の人にやってもらっていないか

管理画面の早見表

見る場所は3つだけ

場所	何があるか
上部のタブ	ホーム、分析、チャット、ビジネスプロフィール、拡張機能、収益化。右端に設定。大きな部屋の切り替え
左のメニュー	いま開いているタブの中の機能一覧。上半分はメッセージ配信、ステップ配信、自動応答、メッセージアイテム。下半分はツール、トークルーム管理、データ管理、友だちを増やす。右向きの三角が付いた項目は押すと開く
中央	友だちの数、配信の結果、お知らせ。今の状態の要約

LINE VOOMのタブは、2026年9月30日でサービスが終了しています。

やりたいこと10個と、開く場所

やりたいこと	どこを開くか
メッセージを送る	ホーム > メッセージ配信
あいさつメッセージを直す	ホーム > トークルーム管理 > あいさつメッセージ
あいさつメッセージを動かす・止める	設定 > 応答設定（本体はトークルーム管理、スイッチは設定）
リッチメニューを作る	ホーム > トークルーム管理 > リッチメニュー
プロフィールを整える	上部タブの「ビジネスプロフィール」
友だちの増え方とブロックを見る	上部タブの「分析」（届く人数はターゲットリーチ）
プランを変える・支払い方法を登録する	上部タブの「設定」 > 利用と請求
プレミアムIDを買う	上部タブの「設定」 > 利用と請求
スタッフに管理画面を触らせる	上部タブの「設定」 > 権限管理 > メンバーを追加
アカウントを切り替える	左上のアカウント名（入った直後はアカウントの一覧）

設定タブは他のタブと毛色が違い、アカウントそのものの設定とお金まわりが全部入っています。左メニューの上半分がアカウントの設定、下半分が「利用と請求」です。応答設定には、チャット、あいさつメッセージ、Webhookのオンとオフが並びます。

パソコンとスマホの分担（作るのはパソコン、見るのはスマホ）

	Web版（パソコン）	アプリ版（スマホ）
向いていること	リッチメニューの作成、ステップ配信の設計、分析、プランの変更	友だちからのチャットに返す、配信結果をさっと見る、通知を受ける
向かないこと	外出先ですぐ開く	画像を並べて配置する作業。画面が小さすぎる

アプリの名前は「LINE公式アカウント」で、普段使っているLINEアプリとは別に入れます。App StoreとGoogle Playの両方にあります。公式はアプリ版について「一部機能はご利用いただけません」と明記しています。アプリで見つからない設定は、スマホのSafariやChromeで <https://manager.line.biz/> を開けば、パソコンと同じ画面が出ます。「LINE Official Account Manager」は管理画面の正式な名前で、同じものです。

入れなくなる前の3つと、引き継ぎの依頼文

5分で終わる

済	やること	やった日
☐	バックアップコードを印刷して保管する。端末もメールも使えないときでも、紙があれば入れる。鍵のかかる引き出しなどに	月 日
☐	管理者をもう1人入れる。1人しか入れないアカウントは、その1人が辞めた時点で止まる	月 日
☐	ログイン方法を2ページに書く。どの入り口で、どのメールアドレスか。これで4ページの1番から4番が一瞬で終わる	月 日

やってしまうと戻れない、または取り戻すのが大変なこと

- ☐ アカウントが出てこないからと、新しく作り直す（友だちは引き継げない）
- ☐ 前任者の個人のLINEや個人のメールアドレスで登録したまま、退職を迎える
- ☐ 2段階認証をメール認証だけにしたまま、そのメールを受け取れなくなる
- ☐ ログイン情報を教える運用を続ける（退職時に必ず問題になる）

管理者を足してもらう依頼文

件名 → LINE公式アカウントの管理者の追加のお願い

〇〇さん

お店のLINE公式アカウントに、管理画面に入れる人を足したいと考えています。いまは〇〇さん1人しか入れないため、入れなくなったときに誰も触れなくなるからです。

- 管理画面（<https://manager.line.biz/>）の「設定」から「権限管理」を開く
- 「メンバーを追加」から、私（〇〇）を管理者として招待する
- 開設のときに使った入り口（LINEアカウント／メールアドレス／Yahoo! JAPAN ID）と、登録したメールアドレスを教えてください（パスワードは不要です）

招待が届いたら、私の方で入れるか確かめてお知らせします。

辞める人への引き継ぎの依頼文

件名 → LINE公式アカウントの引き継ぎのお願い（〇月〇日まで）

〇〇さん

退職の前に、お店のLINE公式アカウントだけ引き継ぎをお願いしますか。〇〇さんの個人のLINEやメールアドレスで登録したままだと、あとから取り戻すのが非常に面倒になるためです。

- 権限管理で、私（〇〇）を管理者に追加する
- ログインに使っているメールアドレスが〇〇さん個人のものなら、その旨を教えてください
- 2段階認証の手段とバックアップコードの保管場所を教えてください

作り直すと友だちがゼロに戻るので、アカウントは今のまま引き継ぎたいです。